

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科		
科目名称	博物館実習						授業形態		実習	
科目コード	283900	単位数	3単位	配当学年	3	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	日高 英二								ICT活 用	
授業概要	本実習の目的は、博物館の業務を行うために必要な技能を習得することです。実習は原則として4年次の夏休みの間に、宮崎県内の博物館か出身地の博物館で行います（事前指導は3年次に始まりますが、3年次は実習を行う博物館を探し、博物館が決まったらその博物館の業務内容などを勉強することに費やします）。博物館実習の申し込みは一般に3年次終了時か4年次の初めに行うので、それまでに学芸員の資格取得に必要とされる他の科目の単位をすべて取得しておく必要があります。									
関連する科目	学芸員関連科目									
授業の進め方 と方法	事前指導において概要説明等を行います。その後は各自で実習希望博物館と交渉し、受入が決まったらその博物館で実習を行います。その後、事後指導として実習概要・内容・後輩へのアドバイスをとりまとめた発表会を行います。									
授業計画 【第1回】	第1回 事前指導（1） 博物館の見学、実習先の博物館の概要と業務内容の調査、実習内容についての事前学習									
授業計画 【第2回】	第2回 事前指導（2） 博物館実習の心得と実習日誌の書き方についての事前学習									
授業計画 【第3回】	第3回 博物館での実習（1） 博物館業務についての全般的実習									
授業計画 【第4回】	第4回 博物館での実習（2） 資料の梱包および荷解き等の資料の取り扱いについて									
授業計画 【第5回】	第5回 博物館での実習（3） 動植物標本の作製法									
授業計画 【第6回】	第6回 博物館での実習（4） 地質標本の作製法									
授業計画 【第7回】	第7回 博物館での実習（5） 歴史、考古、民俗資料の取り扱い									
授業計画 【第8回】	第8回 博物館での実習（6） 資料の整理、分類、保存の方法									
授業計画 【第9回】	第9回 博物館での実習（7） 展示企画準備と展示事業におけるジオラマ、レプリカ、模型などの取り扱い									
授業計画 【第10回】	第10回 博物館での実習（8） 利用者アンケート調査の方法									

授業計画 【第11回】	第11回 博物館での実習（9） パンフレットの作成や刊行物編集の方法
授業計画 【第12回】	第12回 博物館での実習（10） 施設の美化・清掃などの実践
授業計画 【第13回】	第13回 事後指導（1） 実習日誌を提出し、事後指導の一環としてその内容を検討しあう。
授業計画 【第14回】	第14回 事後指導（2） 実習体験を反省し、博物館の業務についての理解と認識をさらに深める。
授業計画 【第15回】	第15回 事後指導（3） 来年度の受講者に対して各自の実習体験を発表し、博物館実習を総括する。
授業の到達目標	1. 博物館において実際に諸業務を実践することによって、博物館の業務内容についての実践的な知識を習得し、収蔵品や展示物などを扱うための方法や技術を学びます。【知識・理解の獲得、汎用的技能の育成】 2. 学芸員養成課程の総括として、博物館実習を通して実践的な知識を習得します。【統合的な学習経験と創造的思考力の養成】
学位授与の方針 （DP）との関連	3. 人間力、社会性、国際性の涵養-（2）／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-（3）／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-（4）
授業時間外学習【予習】	事前指導では、実習に当たっての心構え（学芸員の倫理、社会人としてのルール・マナー、文章表現・レポート作成のきまり等）について指導します（2時間以上）。
授業時間外学習【復習】	実習期間中は学んだことをその日のうちに復習し、次の実習日にそなえてください。事後指導では、実習を体験しての反省・自己評価等をもとに、課題解決のための指導を実施します（2時間以上）。
課題に対する フィードバック	希望者に対しては、実習先博物館から送付されてきた指導学芸員の評価表を開示します。
評価方法・基準	博物館での実習において作成した実習日誌40%、実習を指導していただいた学芸員の評価20%、事後指導での発表の内容40%で評価します。
テキスト	なし
参考書	必要に応じて指定します。
備考	なし